

議 事 録

会 議 名	令和7年度第1回八潮市水道運営委員会
開催日時	令和7年7月3日(木) 午後1時30分～2時38分
出席委員	村山委員長、渡部委員、中嶋委員、最川委員、飯山委員、永倉委員、村松委員、玉森委員 8名
次 第	1. 開 会 2. あいさつ 3. 職員紹介 4. 議 題 (1) 令和7年度八潮市上水道事業の予算について 5. 閉 会
議 事	<p>1. 令和7年度八潮市上水道事業の予算について事務局から説明後、質疑応答を行った。</p> <p>○ 主な質疑応答</p> <p>(委員) 資本的支出が前年度比で約6億円増加となっているが、具体的に何が増加したのか伺いたい。</p> <p>(事務局) 基幹管路の耐震化工事等の令和6年度から7年度継続費の工事があり、今年度は2年目の完了年度となることや、工事の耐震化率を上げるために、令和7年度から8年度も継続費で基幹管路の耐震化工事を行うため、継続費が重なっていることもあり支出が増加する。</p> <p>(委員) 今年度計画されている工事は、大幅に支出を増やしてまで今年度中にやらなければいけない工事なのかどうか伺いたい。</p> <p>(事務局) 八潮市水道事業ビジョン・経営戦略にある年次計画において、令和11年度までに基幹管路の耐震管率を32%とする目標を定めている。この目標を達成させるために、収支バランスを見ながら計画的に工事を進めている。</p> <p>(委員) 道路陥没事故による水道管の影響や水道部職員の対応、埼玉県との調整等の状況を伺いたい。</p> <p>(事務局) 事故当時は、すぐに職員が現場に駆け付け、漏水被害が拡大しないようにバルブを閉める等の対応をした。漏水被害の拡大を防ぐため、バルブを新しく付ける工事や道路復旧工事等、事故直後の工事費用は埼玉県の負担において行っているが、今後の復旧工事についても埼玉県に負担してもらおうよう調整を行っている。道路陥没現場の水道管の完全復旧については、相当</p>

な時間がかかると埼玉県から説明を受けている。

(委員)

現在、断水になっている世帯はないのか。

(事務局)

現在の断水箇所はサガミのみとなっている。サガミは営業中止届を出しており営業していない。

(委員)

資本的収入に補填財源が充てられているが、積立金はどれくらいあるのか。いつまで財源がもつのか伺いたい。道路陥没事故による費用は計画には含まれていないと思うので、計画より早く資金不足となってしまうのではないかと心配している。

(事務局)

建設改良積立金は約 10 億円となっている。八潮市水道事業ビジョンの資金計画では給水収益の 50%を下回らないような計画を立てている。計画上では令和 12 年度には資金残高が 50%を下回り、令和 15 年度にはマイナスになってしまうため、今後 2~3 年の間には料金及び施設整備費の見直しが必要になると考えている。

道路陥没事故の費用については、現状埼玉県に負担してもらっているが、今後の復旧についても埼玉県の負担で行うよう協議しているところである。

(委員)

八潮市は 80%を県水から購入しているとのことだが、100%井戸から水を汲み取ることはできないのか伺いたい。

(事務局)

一日最大約 9,000 m³井戸から水を汲み取ることはできるが、現状一日 5,000~6,000 m³汲み取っている。これは、渇水等の災害が起きたときのために利用できるように余力を残している。また、汲み取り過ぎると地盤沈下の恐れもあるためである。

以 上